



6年修学旅行 華厳の滝

# せいび

10月14日発行

第6号

## 誇りある成美小!

運動会での組体操と全校応援。保護者や来賓の方々も、そして、校医の岩田祥吾先生までも目を潤ませていました。もちろん、教員も…。

組体操と全校応援に取り組む子どもたちの真剣さ、一生懸命さが私たちに感動を与えてくれました。私が閉会式の講評で「感動をありがとう!」と言ったのも、それしか言葉が見つからなかったからです。

テレビ等を観ると組体操については世間から相当の批判を受けています。映像で流されるピラミッドを観ると確かに危険です。10段で7メートルもあるのですから…。安全が確保出来ないものを行うことは愚行です。高さや大きさを競うのではなく、一糸乱れぬ美しさや取り組みの真剣さを求めることに意味があると思うのです。もちろん、成美小のピラミッドでもふざけて行えば大変危険です。真剣に行うこと、運動場の整備をしっかりとしておくこと等が最低の条件です。全校応援とともに私たちを感動させてくれたのは、子どもたちの取り組む姿勢に他ならないのです。

10月5、6日に日光方面への修学旅行へ行ってきました。見学態度やホテルでの生活の様子は素晴らしいものでした。さすが成美の6年生でした。帰路に着き、学校が近づいてきたバスの中、子どもたちは運転手さん、ガイドさん、添乗員さんにお礼を言いました。感謝の心を伝えることは当然のことなのですが、3人とも感激し言葉に詰まっていました。子どもたちの思いが伝わったのだと感じました。

誇り、プライド、こういった感覚、感性を持った子どもたちに育ってきたなと思う瞬間でした。  
※前回の学校だよりで「応援歌」の楽譜のことを書きました。さっそく届けていただきました。ありがとうございました。

## お願いします



先日2回ほど、地域の方から電話がありました。子どもたちの下校の仕方が危険だと言うことでした。自分の命は自分で守る指導は繰り返し行っています。ぜひ危ない場面を見かけたらその場で叱ってください。よろしくお願いします。

## 前期終業式

9日に前期終業式が行われました。1年(尾崎心花美さん)3年(針山遼太さん)5年(趙晟森さん)が立派に前期の反省と後期の抱負を述べました。その中の1年生の文を紹介します。

わたしがぜんきになんぼったことは二つあります。一つはせんせいのはなしをきくときにしせいをきをつけました。せんせいのめをみて、あいこんたくとではなしをきくようになんぼりました。あいこんたくとではなしをきくとはなしのなかがよくわかりました。

もう一つはたいいくがかりのしごとをがんばりました。みんなであらぶとき、まっすぐならべるようにあいずをだしました。じぶんからしごとができてよかったです。こうきもあいこんたくとでせんせいやともだちのはなしをきいたり、かかりのしごとをがんばりたいです。

一ねん一くみ おぎき みなみ



# 成美小大運動会Best Photo Selection